

文字には、
心が
宿ります。



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第164号

令和5年1月12日

書き初め

本校の書き初めのねらいを踏まえて指導している全学年の書き初めを拝見し、子どもたちが緊張して字を書こうとしていました。まさに真剣勝負です。真剣勝負は終わると疲れるのですが、よき達成感が生まれます。まさに自分のウェルビーイング。

伝統文化である書き初めのことについて、少しだけ確認します。書き初めとは、年に一度行われる日本の正月行事で、年の初めに文字や絵をかくことを言います。新年に向けた抱負や祈願をしたためることが多く、目標や努力を表す言葉のほか、健康や幸福などを願う四字熟語を書くのが定番となっています。一般的に、書き初めは1月2日に行われます。そして、「どんど焼き」という行事で、門松やしめ縄といった正月飾りなどといっしょに燃やすのが習わしとなっているようです。

こういうことも子どもたちには知ってもらったうえで字を書くと、1年が幸せになりそうです。字は人柄や知性を表すと考える人もいますし、書を人生とする人もいます。それほど字をかくことは魅力があるのです。

【4～6学年の書き初めの様子】



【1～3学年の様子と作品】

